

伊丹市議会議員 **おおつる 求** の活動報告



弱者を追い込む「インボイス制度」によって

市シルバーは約7200万円の追加納税に

会員は同じ仕事で収入減額の理不尽



「10人に1人が80歳以上」の社会にとって、健康や生きがいづくりを目的とする“シルバー人材センター”の役割は大きい。

ただ適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度導入により、伊丹市シルバー人材センター（「市シルバー」）など全国市町村「シルバー」の運営が窮地に立たされている。

「シルバー」会員は個人事業主だが、インボイス発行事業者を選択しないため、「シルバー」は仕入税額控除ができない。仕事をした会員へ支払われるお金（配分金）にかかる消費税を負担すると、昨年度実績で概算約7200万円になるという。

昨年度の黒字は約400万円で納税は不可能。そこで10月から消費税分を事前に預かって仕事をした会員へ支払う。会員は実質減収となり、年金が不十分な会員にとっては死活問題だ。

伊丹市シルバー人材センター

1975年設立。会員約2700名。
家庭・企業・公共団体等から仕事を引き受け、会員の希望や能力に応じて組織的に提供している。
受注件数の約96%が請負仕事。
また独自にリサイクル店等も運営。
昨年度契約金額は9億9439万円。
会員平均年齢74歳。[23年3月末]

インボイス対応の基本的な考え方

インボイス納税相当額を事前にセンターが預かる

発注者との契約	シルバー人材センター	会員
960 円/時間	会員に 873 円支払い	873 円/時間
原価 873 円		
消費税 87 円	インボイス納税 87 円充当	
	特例措置期間(*)は、その相当額	

「シルバー特例」の早期適用を

農協は組合員のインボイス発行を免除する「農協特例」がある。「全国シルバー」も特例適用を求めているが厳しい状況。

今後、市等の発注者は、「市シルバー」が適正な配分金を会員へ支払い、安定運営できる価格で発注を、と要望した。

弱い立場の者を追い込むインボイス制度の本質が分かる事例だ。

9月議会
アレコレ

各会派の代表質問、個人質問、そして
昨年度の決算審査も行われた9月議会。
その中から身近な話題をピックアップ。



南小児童クラブ 築山に専用棟建設へ



築山の上に登ったら、
運動場が見渡せる

南小学校に児童クラブ専用棟が建設されることになった。

現在、校舎4教室を児童クラブ専用室としているが、特別支援学級の増加や大規模マンション建設により、現状より40名多い200名分(2階建て5部屋)を確保する。2025年4月から使用開始予定。

各フロアにトイレや手洗を配置し、Wi-Fi 環境を整える。また防犯や災害時の避難経路として外階段も設置する。

ただ建設予定地が、子どもたちに様々な思い出がある“築山”とのこと。個人的には築山を残して欲しいのだが。

安心・安全な水道水を届けるために

水道水中の有機フッ素化合物(総称PFAS ピーファス)が報道で大きく取り上げられている。「永遠の化学物質」と言われ、一度体内に蓄積すると、半減期が4~5年と比較的長く、血中濃度内で高まると発がんリスクが高まる、といわれている。水道水はPFASの中のPFOS/PFOA値を測定する。

千僧浄水場では定期的に水質検査をしており、PFOS/PFOA値は10~20 ng/L。季節により差があるものの国内暫定値50ng/Lより低い値であることが分かった。

なお市北部で使用している県水のPFOS/PFOA値は一桁だった。

水道水1Lあたりの目標値

ng=ナノグラム

	PFOS	PFOA
WHO	100	100
アメリカ	4	4
イギリス	100	100
ドイツ	100	100
日本	合計 50	

*アメリカは規制値案の値

*日本は暫定値



医師の働き方と「宿日直許可」

来年4月から勤務医の時間外労働の年間上限時間を960時間とする「医師の働き方改革」が始まる。

昨年度、市立伊丹病院において時間外労働が年960時間を超えた勤務医はいなかった。一方で、“軽微な業務”なら労働時間に換算されない「宿日直許可」を労働基準監督署に申請している、という。

今後、ますます医師の確保が重要になってくることから、医療機関の多くが「宿日直許可」を取得しないと地域医療が守れない現状は理解するものの、疲労によって判断を誤ると、命にかかわる仕事だけに、慎重に運用して欲しい、と要望した。

労基署が I/M 施設運営団体に勧告

5つの文化施設（美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫、博物館）を統合し、昨年4月に開館した市立伊丹ミュージアム(I/M)。

施設を運営する「いたみ文化・スポーツ財団」が昨年9月、伊丹労働基準監督署に是正勧告されていたことが分かった。

開館準備のため、4名が4ヵ月連続月80時間を超える時間外労働をしており、うち1人は4ヵ月連続で月100時間を超えていた、という。

「財団」の労務管理や法令遵守に対する意識の低さに驚くと共に、そもそも市が決めた「2022年4月開館」というスケジュール自体に無理があったのではないかと考えられる。今後も注視していく。



学校体育館に空調整備 実証実験へ

大規模自然災害時、住民の避難場所になる小中学校体育館。

ただ近年の猛暑で、完備されているスポットクーラーや大型ファンでは、熱中症など避難者生活に支障をきたすことから、実証実験として神津小学校体育館に空調設備を設置する。工事請負費・設計委託料など総額6930万円。

体育館面積と空調機器の構成・台数・位置はもちろん、来年夏の稼働状況による快適性、ランニングコスト、また電源喪失時に発電機を稼働した際の振動・騒音の他、平常の切り替えなどを検証する。

全校設置へ向けて財政的なハードルは高いが、児童・生徒が体育活動する際の熱中症予防など必要性も高まっており、検証結果には大きな関心が集まっている。



イメージ

伊丹市営バス 運賃改定へ

消費増税に伴う改定を除き、約28年間運賃を改定せずに運営されてきた市営バスだが、コロナ禍や原油高など社会環境の変化により、大変厳しい経営状況が続いている。

鉄道空白地帯が8割を超える本市にとって、まちづくりの観点からも、市営バス事業の安定した経営基盤の確立は急務だ。市交通局は国土交通省に運賃上限変更を申請している。

認可後、議会で条例を改定し、来年2月下旬より現行運賃210円（小児110円）を230円（120円）に変更する予定。

市民の貴重な移動手段である市営バス、維持し続けていきたい。



電気バス2両が運行中

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 今年も「南小フェスタ」で“炭坑節”をたたかせてもらう。
- “共に学び、共に育つ”を実践する豊中市立南桜塚小学校 橋本校長の話。本当の“インクルーシブ教育”を考えた。
- 関東大震災100年 朝鮮人犠牲者追悼式典@横網町公園
- 大椿ゆうこ参議院議員の国政報告会@宝塚。
- 阪神土建労働組合伊丹支部と伊丹市の意見交換会。



委員会のネット中継が始まる

画面上が質問する議員、
下が答弁する幹部職員。
是非一度、ご視聴ください。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ
伊丹市議会議員 **おおつる 求**
090-8122-7114 <http://ootsuru.com>



【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(前宝塚市長)秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
 ■2015年の市議選に社民党公認で当選。19年再選、23年3選 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- 学校から保護者へ、家庭学習における「生成AI」利用ルールが配布された夏。
- 今年6〜8月の気温は、過去126年で最も暑かった、らしい。地球沸騰時代。
- いくら薄めても「原発処理汚染水」なのは変わらない。STOP! 海洋放出。
- 児童クラブで長期休暇中の昼食提供が始まる。半額公費負担で一食420円。
- 近大ラクロスのリーグ戦をスポセンで観戦。2028年ロス五輪の正式種目に。
- 9月1日時点で、100歳以上の市民は97人。市内最高齢は108歳の女性。
- 神戸大倉山公園の兵庫県解放運動無名戦士の碑の前で、第43回合祭。
- 7月に咲き始め、10月にも咲く朝顔。
- 「ボール遊び禁止」の看板と、園庭の無い民間保育所が増え続けるのに、広大な公立幼稚園跡地を売却する理不尽。
- カメムシ大量発生。毎日お会いする。
- 今年11月9日は三池炭鉱三川抗炭じん爆発から60年。今でも苦しみ続ける被害者。決して忘れてはならない。